



令和3年度学校だより

五福校 ごふくこう

3月11日

No139

文責 本田

あおぞら 早川倉庫で学習発表会を行いました。

昨日、あおぞら学級は、早川倉庫をお借りして、これまで五福のまちについて調べたことや熊本県立大学と一緒に取り組んできたプログラミング学習を、地域の方、保護者、県立大学の先生に向けて発表しました。司会進行も全て自分たちで行いました。子どもたちの頑張りが伝わり、皆さんにとっても喜んでいただきました。この1年、あおぞら学級は、地域のお店をはじめ、大学の先生や学生の皆さんともつながり、いろいろな人と一緒にコミュニケーションをとって学習を進めてきました。自分たちで課題を解決していくことができたり、表現できたりしたことが子どもたちの成長につながったと感じています。「人と人のつながり」「古い歴史あるものとテクノロジーの融合」などこれからの可能性を感じたところです。



司会進行も自分たちで・・・発表も堂々としてすることができました。



実際にロボットを動かし、話をさせたり、光らせたりの様々な工夫をすることができました。

3年生・・・お世話になったお寺に感謝の気持ちを伝えました。

今日3年生は、一町一寺の学習でお世話になったお寺を訪問し、自分たちが作った動画を見せたり、学習したことを伝えたりして、感謝の気持ちを伝えました。お寺って近くにあってもなかなかいく機会が少ないのですが、どのお寺も、子どもたちのために詳しく説明していただき、生きた歴史の学習することができました。3先生の「お寺新聞」はとってもよくできていて、3年生が作ったとは思えないほど素晴らしい出来栄です。今日もそれぞれのお寺の方に見てもらって、子どもたちはお褒めのお言葉をいただきました。これからも子どもたちがまたお寺に行ってお話を聞く機会があるといいなと思っています。

なぜ一町一寺があるのかその謎を子どもに聞いてみてください。

